



おまえざき地域連携室だより



市立御前崎総合病院 2階コスモス畑

市立御前崎総合病院地域連携室 発行

平成26年11月10日 第37号

TEL 0537-86-8852(地域連携室)

FAX 0537-86-8853(地域連携室)

〒437-1696 御前崎市池新田 2060 TEL 0537-86-8511(代表)

<http://omaezaki-hospital.jp/>

E-mail byorenkei@city.omaezaki.shizuoka.jp

地域連携室 室長 増田 良江

当院地域連携室業務につきましては、いつもご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。皆様とのよりよい連携を目指して今後もよりいっそう努力いたしますので、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

1. 医師異動

着任	8月1日付	常勤	麻酔科	<small>なかむら まさと</small> 中村 正人			
	9月1日付	非常勤	眼科	<small>すずき ひろこ</small> 鈴木 寛子			
	10月1日付	嘱託	療養病棟	<small>おののら たかお</small> 小野寺 孝夫	非常勤	小児科	<small>うちやま ひろき</small> 内山 弘基
		非常勤	脳神経外科	<small>おおし ともや</small> 大石 知也			
退職	9月30日付		小児科	内田 博之		脳神経外科	戸塚 剛彰

2. 新任医師のご紹介 療養病棟 小野寺 孝夫 医師

皆さんこんにちは。小野寺孝夫と申します。昭和47年に弘前大学医学部を卒業し、泌尿器科医局に入局して以来、福島を除く東北5県と函館とで一般泌尿器科の研鑽を積み病院勤めや診療所も経験して今日に至っております。生来蒲柳の生ちで、何度も病気を患い、又数回の手術も受け、特に足腰が弱くなった為に深雪の積もる青森での生活が厳しくなり、又妻も膝の人工関節手術を受けた事もあり、娘や孫の居る東京へ出てきましたが紹介して下さる方があり、今度当病院療養病棟へ勤める事となりました。以前はケア・マネージャーの資格で仕事をした事もあり、又往診も行った事がありますので、在宅医療等にも御役に立ちたいと思っております。東北地方から出た事がなく当地の事情には不案内ですのでよろしく御引き回しの程お願い致します。



3. スポーツ腰痛外来のお知らせ

11月から、脊椎センター 北浜義博医師による「スポーツの腰痛外来」が始まりました

スポーツの腰痛で悩まれている学生さんから中高年の方までが対象となります。問い合わせなどありましたら、下記内容でご説明ください。

担当医 脊髄脊椎科 北浜義博医師

日時 毎週火曜日 15時～16時30分 1日6名の予約制

場所 脊椎センター外来

予約や問い合わせは、脊椎センター宛てにお電話(0537-86-8517 脊椎センター直通)または窓口でご予約ください、とお伝えください。

4. 第 11 回菊川市立総合病院・市立御前崎総合病院合同カンファレンスのご報告

日時:平成26年9月17日(水)午後6時30分～ 場所:菊川市立総合病院 2階講堂
参加47名で開催されました。

今回からは、医師のみでなくコメディカルも発表することになり、医師会の先生方とも活発な意見交換が行われました。

- 1・脊椎肥厚性硬膜炎の1例 菊川市立総合病院 整形外科 三原 唯暉 先生
- 2・急性期作業療法のアウトカムと退院後の生活 市立御前崎総合病院 リハビリテーション科 尾崎 勝彦 氏
- 3・MAGNETOM Aera の使用経験 菊川市立総合病院 放射線科 高橋 洋一 氏
- 4・乳幼児難聴スクリーニング 石崎耳鼻咽喉科 石崎 久義 先生 伊藤君江 氏
菊川市立総合病院 耳鼻咽喉科 鹿野 敦子氏 高橋 芳子 氏
- 5・MTX-LPD(リンパ増殖性疾患)の4例 市立御前崎総合病院 リウマチ科 大橋 弘幸 先生



次回、第 12 回市立御前崎総合病院・菊川市立総合病院合同カンファレンスは平成 27 年 2 月に開催予定となります。

5. 認定看護師のご紹介 訪問看護認定看護師 訪問看護ステーションはまおか 松下 知子

私は 2014 年に訪問看護認定看護師を取得し、訪問看護ステーションで働いています。

訪問看護とは、病気や障がいを持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスです。

入院期間が短縮化され、在宅医療が重視されるようになってきた現在、在宅療養者は増加すると言われています。しかし、訪問看護の活動や、活動による成果はまだまだ知られていない現状があります。訪問看護を利用された在宅療養者の方々に起こった良い変化を多くの方々に知っていただき、一人でも多くの方々に訪問看護をご利用いただきたいと考えています。

医療機関から在宅・在宅から医療機関への滑らかなる継続看護を念頭にいれ、安全・安楽で生きがいを持って療養生活を送ることができるように、ご本人やご家族の思いに寄り添いながら、多職種と連携を図り、在宅チームケアの実践力が向上するように努めていきます。

訪問看護師として、在宅療養者の身体的状態や生活全般が安定するように、医療・生活の両方の視点でコーディネートできる強みを生かし、今後も活動をしていきたいと思えます。



私が働く訪問看護ステーションはまおかのスタッフです

ご本人やご家族の思いに寄り添い、質の高い看護が提供できることを目指し、ケースカンファレンスや学習会、研修への参加を行っています。

退院支援・調整をおこなった病棟看護師との同行訪問を行い、患者様に満足していただける医療・看護の継続ができるように支援しています。

また、がん性疼痛認定看護師との同行訪問も行き、連携を強化し、がん患者の在宅看取りを推進しています。

6. 第6回病院祭・コスモス摘み&コンサートの報告 テーマ “ふれ愛・ささえ愛”

日時:平成26年10月18日(土) 時間 10:00~14:00 会場:病院1・2階ホール

天候にも恵まれ、病院祭を継続して開催していることが多くの方に浸透してきた効果が出てきたように思われました。参加者は536名で遠くは浜松、磐田市からのご来場者がありました。



7. 統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
逆紹介数 「人」	小笠医師会	147	87	84	96	73	101
	榛原医師会	51	22	34	44	22	33
紹介者数 「人」	小笠医師会	86	109	100	121	100	113
	榛原医師会	20	35	39	38	24	27
逆紹介率 「%」	小笠医師会	170.9	79.8	84.0	79.3	73.0	89.4
	榛原医師会	255.0	62.9	87.2	115.8	91.7	122.2
検査受託 件数(人)	小笠医師会	74	33	41	60	46	28
	榛原医師会	16	9	13	9	10	7
	他地区	0	0	0	0	0	0